

入院診療：2023年度 総数 392名

神経免疫疾患（多発性硬化症、重症筋無力症、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー等）、神経変性疾患（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病等）を中心に、神経内科領域の様々な疾患の患者さんの入院診療を行っています。

他院で診断や治療が困難な方も積極的に受け入れています。また、POEMS（クロウ・深瀬）症候群の患者さんが全国から集まっております。

主な疾患の症例数

多発性硬化症・視神経脊髄炎・抗MOG抗体関連疾患	53名
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	18名
ギラン・バレー症候群・フィッシャー症候群	11名
POEMS（クロウ・深瀬）症候群	10名
重症筋無力症	37名
筋萎縮性側索硬化症	43名
パーキンソン病・パーキンソン症候群	45名

外来診療：2023年度 新患総数 1518名

予約制で新患患者さんの診療を行っています。神経内科領域の疾患を幅広く受け入れています。末梢神経疾患の患者さんが多いことが特徴です。セカンド・オピニオンのご依頼も多く頂いております。

主な疾患の症例数

末梢神経疾患	172名
機能性疾患（不随意運動・頭痛・てんかん）	216名
認知症	197名
脊椎・脊髄疾患	84名
神経筋接合部・筋疾患	132名
パーキンソン症候群	165名
脳血管障害	31名
運動ニューロン疾患	45名
自律神経疾患	38名
脊髄小脳変性症	34名

セカンド・オピニオン（18名 うち県外13名）

POEMS症候群、ニューロパチー、筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症など